

●この説明書は、必ず組立て・取付けされる方にお渡しください。

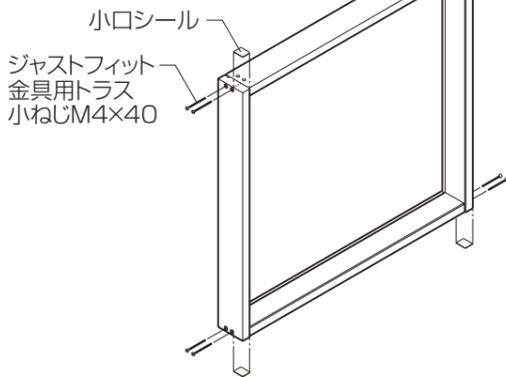
■組立て・取付け上のお願い

- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、『F☆☆☆☆』又はノンホルムタイプを使用してください。
- 本製品は、浴室内部など常時湿り気のある場所には、取付けないでください。
- 窓枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 造作材・建具枠はコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠小口と床面の間に必ず防水処理をしてください。
- 勝手口・玄関ドアなどの水回りに使用すると、窓枠が膨張したり腐食することがあります。コンクリートやモルタルなどと窓枠とは縁を切り、すき間はシーリングで処理する、又、埋込む場合は金属カバーなどをするなど、必ず防水処理をしてください。
- 枠を取付ける際、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 窓枠の裏面に吹付け材(ウレタンなど)が付着しないようにしてください。吹付け材の発泡などにより窓枠が変形し、上下と縦枠の取合わせ部にすき間や段差が出たり、窓枠に反りが生じるおそれがあります。
- 本製品のねじ締め付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したりねじ頭が飛んだり、つぶれる場合があります。

■取付け順序

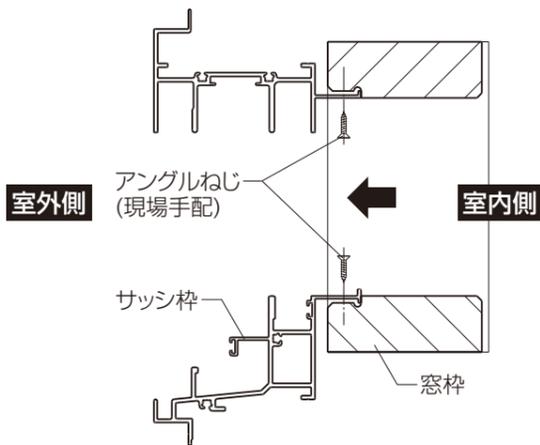
1 枠組み

- 枠組みをし、同梱の専用ねじで固定します。



2 サッシ枠への取付け

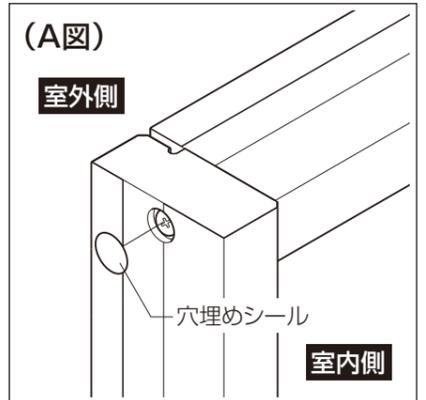
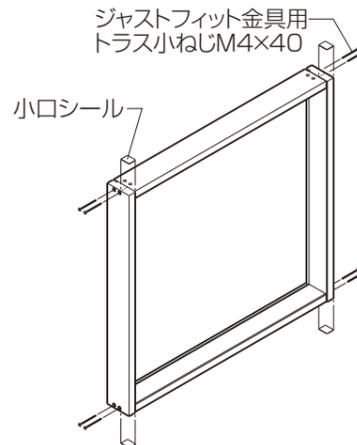
- ①サッシ枠に窓枠を差込み、アングルねじ取付け用下穴をあけた後、ねじ止めします。
- ②両端を固定した後、中央を固定します。



■取付け詳細

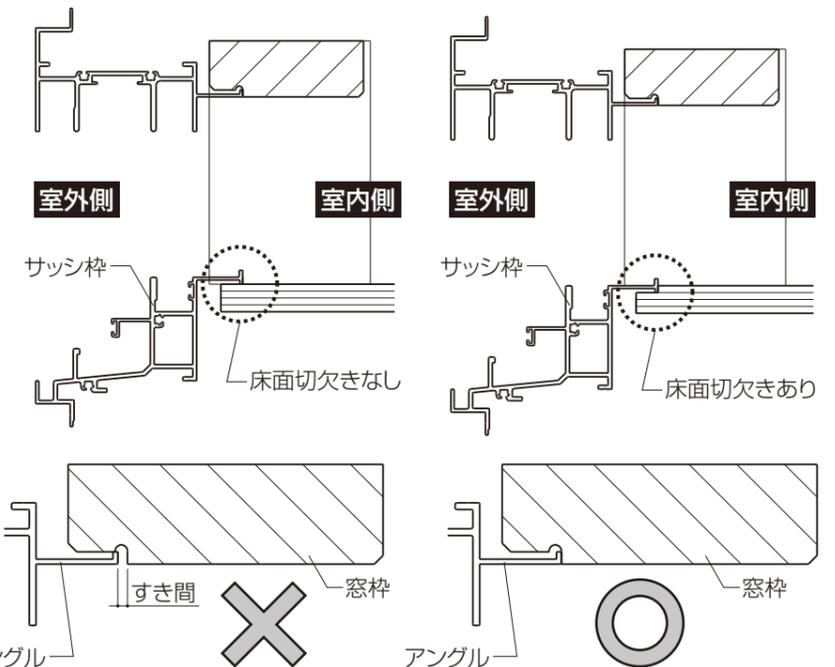
1 枠組み

- 縦部材と横部材の接合部には、必ず接着剤(現場手配)を塗布してください。
- 窓枠組立て後、同梱の小口シールを縦枠小口面に張付けてください。
※枠幅40mmの場合は、ねじ頭に穴埋めシール(同梱)を張ります。(A図参照)



2 サッシ枠への取付け

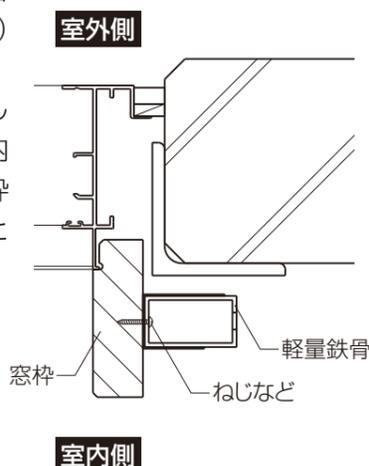
- ①下穴(φ2、深さはねじの長さと同程度)は必ずあけてください。
※すき間や段差があった場合、取付けねじをゆるめて調整するか、かい木を入れて窓枠を開かないようにしてから、締め直してください。
※三方タイプの縦枠は床面を切欠かない納まり(床のせ)を標準としているため、床面を切欠いて納める場合には、縦枠をカットする必要があります。
- ②窓枠取付けの際には、窓枠とアングルの間にすき間ができないように取付けてください。



■窓枠の固定について

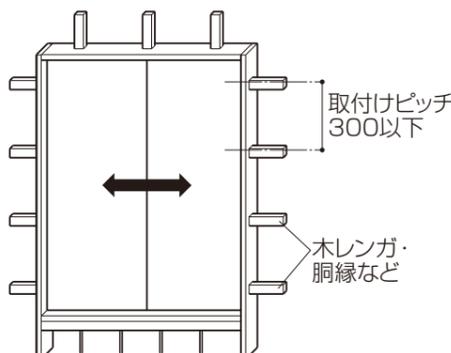
【軽量鉄骨での固定】

- 取付けた窓枠に軽量鉄骨(現場手配)を取付けます。
- 軽量鉄骨と窓枠との接合にはねじなど(現場手配)を使用してください。
※軽量鉄骨と窓枠を接合していない場合、縦枠が内側に反ってきたり、上枠が垂れてきたりすることがあります。



【木レンガ・胴縁などでの固定】

- 取付けた窓枠に木レンガ・胴縁など(現場手配)を取付けます。
※取付けピッチは、300mm以下としてください。



- 木レンガ・胴縁と窓枠との接着には木工用ボンド(現場手配)を使用し、コンクリート面(躯体)との接着にはコンクリートボンド(現場手配)を使用してください。
※木レンガ・胴縁と窓枠を接着していない場合、縦枠が内側に反ってきたり、上枠が垂れてきたりすることがあります。

